

高齢者の身近な相談窓口の周知ならびに相談支援

◆八日市地域包括支援センター相談窓口の周知

開設初年度であることから、高齢者の介護や暮らしに関する身近な相談窓口として周知を図った。

- ・地域サロン、コミュニティセンター、地区社協等からの依頼による講座の実施

(聖徳町サロン、なかのよいまち推進会議、建部コミセン講座、南部地区市民学習会、八日市地区社協研修会など)

- ・地区の民生委員定例会への参加と相談窓口周知
- ・「ひがしおうみ社協だより」や「スマイルネット（のぞいてみよう社協）」を活用した広報啓発

◆地域の住民活動や社協他部署と連携した相談支援の実施

- ・社協の地区担当者と連携を図り、生活支援サポーターや住民同士の支えあい活動を取り入れた相談支援の実施

- ・障がいの子を抱える高齢者に対し、障がい者支援担当部署と連携し、子へのサービス導入を支援



◆活動を通して見えてきた課題

- ・地域包括支援センターの役割や、どんなときに相談に行けば良いかを知らない方が多かった。
- ・高齢者の相談を入口に、複合的な課題を抱える世帯の状況が見られたが、必要な支援へつながっていないケースもあった。

◆令和8年度の取組

- ・様々な機会をとらえて、センターが高齢者の相談窓口であることの周知・啓発を継続して行う。
- ・社協の地域福祉活動とも連携し、支援の必要な高齢者やその世帯が孤立しないよう相談支援に取り組む。